

平成 19 年度 事業報告書

本財団の目的を達成するため、次に掲げる事業を行った。

1 理事会等開催状況

会議名	開催日	内容
平成 19 年度 第 1 回 臨時評議員会	平成 19 年 5 月 8 日 書面による評議員会	・ 理事の選任
平成 19 年度 第 1 回 通常理事会	平成 19 年 6 月 6 日 ホテルニューオータニ博多	・ 平成 18 年度事業報告及び収支決算書 ・ 評議員の選任
平成 19 年度 第 2 回 臨時評議員会	平成 19 年 6 月 21 日 書面による評議員会	・ 平成 18 年度事業報告及び収支決算書 ・ 理事の選任
平成 19 年度 第 3 回 臨時評議員会	平成 19 年 9 月 11 日 書面による評議員会	・ 理事の選任
平成 19 年度 第 1 回 臨時理事会	平成 19 年 10 月 12 日 書面による理事会	・ 事務所移転に伴う賃貸借契約書締結
平成 19 年度 第 1 回 通常評議員会	平成 20 年 3 月 26 日 ホテルニューオータニ博多	・ 平成 19 年度特別会計収支予算の補正 ・ 平成 20 年度事業計画 ・ 平成 20 年度収支予算 ・ 寄附行為の変更 ・ 理事の選任
平成 19 年度 第 2 回 通常理事会	平成 20 年 3 月 27 日 ホテルニューオータニ博多	・ 平成 19 年度特別会計収支予算の補正 ・ 平成 20 年度事業計画 ・ 平成 20 年度収支予算 ・ 寄附行為の変更 ・ 評議員の選任 ・ 理事長、副理事長の互選

※書面による理事会及び書面による評議員会の開催日は、決議書提出締切日。

2 事業の概要

(1) 学術研究に関する広報活動事業

①企業セミナーの開催

i 「九州大学学術研究都市セミナーIN 東京」

テ ー マ：「水素利用技術の最先端拠点を目指して」

開催日時：平成20年1月30日(水) 14:00～17:30

開催場所：グランドプリンスホテル新高輪

参加者数：120名

ii 「第2回九州大学学術研究都市情報交流セミナー」

テ ー マ：「九州大学学術研究都市情報」

「九州大学の産学連携」

開催日時：平成19年7月26日(木) 15:00～17:30

開催場所：福岡ガーデンパレス

来場者数：94名

iii 「第3回九州大学学術研究都市情報交流セミナー」

テ ー マ：「九州大学学術研究都市情報」

「有機光エレクトロニクスの登場－基礎から最新技術まで－」

「有機ELがディスプレイ産業に与えるインパクト」

開催日時：平成20年2月7日(木) 15:00～17:40

開催場所：ホテルセントラータ博多

来場者数：90名

iv 「その他出展活動」

- ・インフォネットフェスティバル2007 (5/18～19、グランメッセ熊本)
- ・福岡ナノテクNOW2007 (6/21～23、西日本総合展示場)
- ・福岡水素エネルギー社会近未来展2007 (10/17～19、西日本総合展示場)
- ・環境ビジネスマッチング (10/25、インテックス大阪3号館)
- ・FC EXPO 2008 (2/27～29、東京ビッグサイト)

②東京会議の開催及び国省庁への要望活動

i 「九州大学学術研究都市構想促進東京会議」を開催し、首都圏のオピニオンリーダーと九州大学学術研究都市に関する意見交換を行った。

・開催日時：平成20年1月25日(金) 15:30～17:30

・開催場所：ザ・プリンスさくらタワー東京

・参加人員：22名(東京会議委員13名、地元代表者9名)

・内 容：「九州大学伊都キャンパスの進捗状況」「九州大学学術研究都市推進機構の活動状況」について説明した後、質疑応答。総会終了後、交流会を開催し、さらに議論を深めた。

・備 考：東京会議委員を8名補充し、東京会議委員は計30名となった。

ii 推進協議会による国省庁への要望活動

8月1日に、九州大学学術研究都市推進協議会と共同で、国の機関（文部科学省、経済産業省、国土交通省、農林水産省の17課）を訪問し、学研都市づくりに対する協力要請を行った。

③学術研究都市構想及び九大有力シーズの海外向けPR

在日企業や海外に向けた情報提供の一貫として、英文パンフレットの増刷を行い、大学サミット・イン・九州2007等の国際会議で配布した。

④九大研究シーズの情報発信

当機構が目指す34の有力シーズを分かりやすく、見やすいシートにリニューアルし、ホームページで公開した。

また、九大ユーザーサイエンス機構と連携し、企業が九大ニーズを探す際に役に立つ「シーズ検索システム」を企業のモニタリング調査結果を踏まえて改善した。

⑤地下鉄電照広告

企業・研究所誘致を促進するため、不特定多数の企業へのPRに適した地下鉄駅の電照広告を利用し、九州大学学術研究都市と推進機構のPRを行った。

設置箇所：福岡空港、博多駅

⑥その他の広報活動

i ビッグオレンジの活用

九州大学伊都新キャンパスに設置されている、九州大学の総合情報施設（ビッグオレンジ）において、同キャンパス来訪者に、プラズマテレビや機構の紹介パネルを用いて、情報提供を行った。

ii ホームページの更新

財団業務に関する事業概要や最新情報の発信を行った。

iii 機構ニュース「OPACKめーる」の発行

財団の業務や学術研究都市に関する情報提供のため、機構ニュース「OPACKめーる」を定期的（年4回）に発行した。

発行時期：年4回（4月、7月、10月、1月）

発行部数：各号2500部

(2) 産学官の共同研究による研究開発支援事業

①ICカードの実用化に向けた活動

九州大学発のID管理システム(MIID)を中心とした共通プラットフォームモデルの構築を目指して19年度に発足した「福岡経済情報基盤協議会」の運営メンバーとして参画し、デジタル地上波放送設備の学内設置等の活動を支援した。

②水素プロジェクトに関する研究会

九州大学及び企業の研究所等を訪問し、企業のニーズを探し出すとともに、「FC EXPO2008」に出展し、機構の取り組みを広くアピールした。

「FC EXPO2008」

開催日時：平成20年2月27日（水）～29日（金）3日間

開催場所：東京国際展示場（東京ビッグサイト）

来場者数：約2万5千人

③ナノテク等プロジェクトに関する研究会

研究から生み出される新物質・新技術をいち早く実用化へと結びつけるために必要な「計測・分析・試作」等に関する機能、例えば大学が所有する分析機器の利用への企業の関心は高く、これらの利用環境を大学内及びその周辺に構築するための調査に着手した。

④環境関連プロジェクトに関する研究会

九州大学学術研究都市のポテンシャルを上げ、研究所誘致につなげるため、地中熱プロジェクトの普及へ向けた研究支援、バイオマスの利活用についての検討、自然エネルギー・未利用エネルギーに関する調査等を行った。

(3) 研究機関等の立地支援事業

①企業向け現地説明会の開催

企業・研究所の新設及び移転の候補地としてもらうため、各立地用地の開発状況や産学連携施設、九州大学伊都キャンパスの先端研究施設及び周辺の魅力的な環境等の視察を目的とした現地説明会を実施した。

i 「ナノテク関連：県外企業向け 現地説明会」

日 時：平成19年12月11～12日

参加者：11名

ii 「水素関連：県外企業向け 現地説明会」

日 時：平成20年2月5～6日

参加者：10名

iii 「福岡県立地企業振興連絡協議会福岡部会」

日 時：平成19年11月21日

参加者：16名

②福岡市産学連携交流センターへの入居企業誘致活動

九州大学学術研究都市における産学連携の先導的施設である「福岡市産学連携交流センター」について、入居企業の誘致活動を行った。

※平成20年4月の開所時に100%の入居を達成

③ほたる、タウンオンキャンパスへの企業誘致活動等

大手企業や地場企業の本社・研究所等を訪問し、九州大学と九州大学学術研究都市の情報を提供し、九州大学との産学連携を勧奨し、誘致活動等を行った。

※初年度（平成16年10月）からの累積では約400社（延べ数）

④国公設研究機関の誘致

企業研究所誘致のほか、17～18年度に取り組んだ次世代スーパーコンピュータの誘致活動の経験を生かし、国公設研究機関（理化学研究所など）の誘致に向けた情報収集、要望活動等に取り組んだ。

⑤都市形成調査

九州大学学術研究都市構想の実現・企業立地の促進に求められる「知・住・悠の舞台となる快適空間の形成」に向けて、その具体化に必要な調査・検討を行った。

- i タウンオンキャンパス地区機能配置計画策定調査
- ii タウンオンキャンパスまちづくり推進会議の開催（6回／年）
- iii 分散型地域核「ほたる」の開発・整備に関する調査
- iv 九州大学学術研究都市における景観形成調査

(4) 産学連携交流支援事業

①産学連携交流会の開催

九州大学の研究シーズと企業のニーズとのマッチングを図るため、「ハイテクノロジー」をテーマに講演会を開催し、併せて当財団の活動状況や九州大学学術研究都市の魅力を紹介した。

「OPACK交流会」

日 時：平成20年1月23日（水）13:30～18:30

場 所：ハイネスホテル久留米

参加者：29名

「BT、NT、IT関連産業振興研究会」（共催：福岡市）

日 時：平成20年3月26日（水）14:00～17:00

場 所：天神ツインビル

参加者：70名

②九州大学学術研究都市未来化学フォーラム

九州大学学術研究都市への立地促進にあたり、九州大学未来化学創造センターや、工学研究院応用化学部門が自ら設立した「光と水の伊都未来都市構想」と共同で事業を行うなど緊密な連携を図った。

「光と水の伊都未来都市構想第1回総会」（開催支援）

日 時：平成19年9月6日（木）13:00～18:00

場 所：九州大学医学部百年講堂

参加者：120名

③超高压電子顕微鏡フォーラムの運用

九州大学超高压電子顕微鏡室と連携して、九州大学保有の電子顕微鏡（9台）の民間企業への開放を行い、産学官交流・連携を促進した。（会員企業数：9社）

また、最近注目を浴びている収差補正電子顕微鏡についての研究会を開催した。

「超高压電子顕微鏡フォーラム研究・技術懇談会」

日 時：平成20年3月14日（金）13:00～18:30

場 所：ホテルレガロ福岡

④他組織との連携

i 九州大学知的財産本部（リエゾン部門他）

リエゾン部門の定例会議に参加し、情報の収集・提供を行いながら、企画（地中熱プロジェクト他で連携）等その他の部門へも連携を重ねた。

ii 福岡県工業技術センター

昨年度より情報交換しており、19年度は、1月のOPACK交流会を同生物食品研究所と連携して開催した。

iii 政策投資銀行

3カ月に1回の頻度で情報交換を重ねている。10月には、当機構の「企画・運営会議」において、政投銀のレポート「九州地域設備投資動向」の要旨を説明していただいた。

また、当機構からは、企業訪問等の活動状況を情報提供した。

iv 福岡ビジネス協議会（FBK）

当協議会は、日立製作所と日産自動車を中心となり、福岡県内の企業（約250社）が集まる情報交換の場である。

17年度から入会し、毎月の月例会等で、地場企業と積極的に情報交換を行っている。

v 福岡5：01サロン

当サロンは、福岡七社会の企業を中心とする情報交換の場である。

企業訪問で懇意になった三井物産九州支社の紹介で、18年2月例会から出席し、情報交換を行っている。